

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130504		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	神津福祉センター管理運営事業						担当部局・課	健康福祉部 高年福祉課				評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。			
事業内容	○教養講座等の開設に関すること ○文化活動および趣味、娯楽その他のレクリエーションに関すること ○文化、教養、福祉等に関する活動のため、施設をその利用に供すること ○機能回復訓練に関すること ○高齢者の相談						事業開始(予定)年度								
							平成11年度								
							事業終了(予定)年度								
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	高齢者の健康づくりと教養												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	高齢者をはじめとする市民の文化、教養並びに福祉の向上を図る。						予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 老人福祉費 (事項) 老人福祉施設運営費 (目) 老人福祉総務費							
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)								
	事業費	30,636千円	財源内訳				事業費	27,650千円	財源内訳						
			国・県補助金等		2,859千円				国・県補助金等		2,580千円				
			市 債		—				市 債		—				
			その他(使用料等)		820千円				その他(使用料等)		165千円				
			一般財源(市税等)		26,957千円				一般財源(市税等)		24,905千円				
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)						
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。						
	経費合計	31,493千円					経費合計	28,507千円							
	活動指標	指標名(単位)	施設年間利用者累計（人）					計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度				
意味・算式等		施設利用者の増を図る					計画値		88,000	89,000					
							実績値		84,843						

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。